



6/4

遊び場デザインプロジェクト！

つどい場「あら、ほっ」

▶完成したドラム缶風呂でひとつ風呂



あらかわ地区まちづくり協議会事業部会で、遊び場デザインプロジェクト第2弾として「ドラム缶風呂づくり&薪割り体験」を実施しました。

草だらけでジャングル状態になっていたつどい場「あら、ほっ」(旧荒島保育園)のプール跡地をきれいにして、ドラム缶風呂を設置。子どもも大人もドラム缶風呂に交互に入り、疲れを癒しながら親睦を深めました。

5/28

村上でスポーツ吹矢の県大会を開催

勤労青少年ホーム体育館

村上支部10周年記念大会も兼ねた「第6回 新潟県スポーツ吹矢協会村上大会」が、県内6支部から45人が出場し開催されました。スポーツ吹矢とは、5～10メートル離れた円形的的をめがけて息を使って矢を放ち、その得点を競うスポーツです。

競技は、級や段位ごとに距離の違う3部門(6・8・10メートル)に分かれて行う個人戦と、3人1チームで8メートルの距離で行う団体戦が行われ、参加者は日ごろの練習の成果を競いました。



▶性別や年齢を問わず誰でも手軽に楽しめます

6/4

町屋で新茶とともに音楽に酔いしれる

村上市中央商店街

動画あり

▶田村優子さんの篠笛演奏



村上茶とともに町屋の中で音楽を楽しんでもらおうと「新茶振舞&町屋音楽祭」が、開催されました。

中央商店街の茶製造店舗や酒販売店など15店舗で新茶と地酒が振る舞われ、町屋音楽祭の会場の「町屋カフェ そらて小町」では、篠笛や箏、尺八、アコースティックギター演奏などが行われ、参加者は音楽に酔いしれていました。

5/27

沼エビの堤を整備

松沢集落

▶地元産エビ餅の「マエモ」(㊦)ツザワの㊩㊪を使った(㊫)



松沢集落では、地域資源の「沼エビ」を活用した地元産エビ餅の開発事業に取り組んでいます。この「沼エビ」は、集落の農業水利である堤に生息し、毎年秋に堤の水をすべて落として保守点検を行う際に採れるものです。

この日は肌寒い天候でしたが、秋のもち米と沼エビの収穫を楽しみに作業が行われました。

6/7

へえ～この^{かいこ}蚕さんが繭玉を作るんだね
朝日みどり小学校

▶地域おこし協力隊の細井さん（右）も参加



地域の産業・文化の調査と昆虫の成長の学習のため、蚕（カイコガの幼虫）の飼育法などを3年生が授業で学びました。

朝日地区では蚕がサナギになる際に採れる丸い繭で、シルクフラワーや繭クラフトなどを作っています。参加した17人の児童は、飼育用に配られた蚕を興味深く観察。採れた繭は繭工作に使うそうです。

6/4

駅前が熱気に包まれる
JR村上駅周辺

▶若人たちが担ぎ躍動する神輿



村上駅前通りを歩行者天国にして、「村上駅前ばらはちかん2017」が開催されました。

「ばらはちかん」とは、「ばらばらにする」「ごちゃごちゃする」といった意味の村上弁で、このイベントは「いろいろな催しが集まったお祭り」という意味だそうです。

万燈神輿（まんとうみこし）や子供神輿の巡行、瀬波潮太鼓、よさこいソーラン演舞、フリーマーケットなど盛りだくさんの催しで、大勢の人でにぎわいました。

6/11

健康に楽しく広がる交流の輪
ゆり花会館



◀華麗な踊りに拍手喝采

▶新鮮な魚・野菜や飲食物などが並ぶ軽トラ市



「山北福祉と健康まつり」と「さんぽく軽トラ市」が同時開催されました。

屋内会場では、福祉健康相談コーナーやフリーマーケット、地元の人たちによる歌や踊りのアトラクションが行われ、屋外会場の軽トラ市では、山北地区の海の幸・山の幸などの販売もあり、多くの人でにぎわいました。

6/10

大葉沢城跡で歴史探訪&自然の中でのウォーキング。豆腐スイーツもいいね。
大場沢集落

▶昼食会では根菜入り豚汁や豆乳胡麻豆腐に舌つづみ



館腰地域まちづくり協議会が「大葉沢城跡健康ウォーク」を開催しました。今年は、昨年好評を博した同イベントに健康づくりや、地域のお店のスイーツ試食の要素も取り入れたそうです。参加した60人は、戦国時代に築かれたお城の歴史や、畝形阻塞などの遺構を体感しながら自然散策を楽しみ、公民館での昼食会にぎやかに交流しました。